

# まつうら 市議会だより

第18号

平成22年11月1日

編集・発行

市議会だより編集委員会

電話 (0956)72-0264



生徒たちで“<sup>わいっしょ</sup>和一処”を披露（10月10日 松浦東高等学校「最後の体育祭」）

## 第3回 子育て支援及び市内への転入促進を目的とした 定例会 定住促進住宅の家賃を減額する改正条例を可決

平成22年第3回定例会を、9月3日(金)から16日(木)までの14日間の日程で開きました。

今回の定例会では、定住促進住宅条例の一部改正など条例3件、平成22年度一般会計補正予算など予算15件、その他の議案5件の合計23議案が上程され、いずれも原案のとおり可決いたしました。また、平成21年度の公営企業会計及び松浦地区消防組合一般会計の決算認定6件を認定いたしました。

最終日には平成21年度の松浦市一般会計・特別会計の決算認定15件が追加上程され、8名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置のうえ審査を付託し、議会閉会中の継続審査といたしました。

### 会期日程

9月

3日(金)

本会議

開会、会期の決定、議長の報告、市長の市政概況報告、監査報告、特別委員会の中間報告、健全化判断比率及び資金不足比率の報告、議案の上程・説明・質疑・主管委員会付託、請願の受理報告・主管委員会付託、陳情の受理報告

4日(土)・5日(日)

休会

6日(月)～9日(木)

本会議

一般質問

10日(金)

委員会

11日(土)・12日(日)

休会

13日(月)・14日(火)

委員会

15日(水)

休会

16日(木)

本会議

委員長報告・採決、議案の追加上程・説明・審議、認定案件の追加上程・説明・質疑、特別委員会の設置・付託、議員提出議案の上程・説明・審議、閉会



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

## 一般質問

立 鈴  
議員

## 質問

一、各課の所管施策に明確には該当したい事項については、どう対応しているのか。農林課も建設課でも該当したい。しかし、その箇所は、大雨時必ず鉄砲水が石垣の間から洪水となつて通学路に流れ、危険な状態となる。近年、特にゲリラ豪雨によつて道路は通行不能となる。子ども達の登下校時の安心安全を損うことのないよう実態を把握して施策を講じてほしい。この様な箇所は、幹線道路の迂回道路として生命に関わる非常に重要な道路となる。該当しないで年数だけが経っていくことは許されない。尊い命が犠牲になることのないよう施策を講じて頂きたい。

二、市内の一部地域では国土調査が行われている。そんな中、山間地域の農地荒廃が年々深刻さを増している。先祖伝来、悠久の昔から耕作してきた棚田が荒廃地となり、その面積を拡大している。国や県にも制度、施策があるにしても、耕作者の高齢化や著しい食の時代変化等も諸要因ではあるだろうが、市としても総合的に荒廃対策を講ずる必要があると思うが市長の考えを伺いたい。

一、各課所管施策に該当しがたい事項の対応について

二、山間地農地荒廃対策について

## 答弁

一、各課にまたがること、各課の所掌に属しないことについては、総務課で庁内の調整を行っています。地域住民の皆様方、あるいは関係団体等からいろいろな要望等があるわけですが、できるだけ「こういう形でこの案件については対応すれば安全が確保されるんじゃないか」と、そういう知恵を出しながら、関係課連携のもとに、どうしても対応がとれるのか、そういう前向きな考え方に立つて調整をしながら対応したいと思います。

二、農地というのはこの地域にとつては重要な資産といえますか、資源であります。それを有効に活用していくということがこの地域の振興にもつながるといふことから、このことについては、いろいろな制度を活用しながら、一時的に農地にしてもまた耕作放棄地になるということになつてはいけませんので、しっかりとした利活用というものを組み立て、それに沿った生産農地としての活用ができるように、今後とも積極的に取り組んでまいりたいと思えます。

## 一般質問

武 辺  
議員

## 質問

一、松浦児童館は昭和39年に建設された建物で老朽化が激しく、危険極まりない状態であると思います。平成21年度は一日平均73人、多い時は一日で110人の小学生が利用している状況下において、児童館の設置目的である「児童に健全な遊び場を与えて、健康を増進し情操を豊かにする」ことができる建物だとは到底思えない状態です。今後応急措置をされるのか、あるいは建て替えを含めた考えがあらわれるのか、児童館のあり方も含めて考えをお聞かせ下さい。

二、現存する福岡都市圏のアンテナショップは、そのほとんどが県単位あるいはそれなりの規模のもので、松浦市が単体で開設し、運営できるものなのか甚だ疑問です。

(1)長崎・佐世保・雲仙3市合同のアンテナショップに参加させてもらおうという考えはなかったのですか。

(2)5月22日のヤフードームでのゲームスポンサーとして松浦市の広報活動ができたときれる根拠は何ですか。その後の松浦市に対する効果、数字的なものを持つておられるのならお示し下さい。

一、松浦児童館の老朽化対策について

二、福岡都市圏アンテナショップ開設事業について

## 答弁

一、建物が老朽化しているというのもありますし、お子さんが遊ばれる場所に相応しいとは思っておりませんので、児童館の今後のあり方というの、放課後児童クラブの問題等も踏まえて、面積、規模等も含めて検討していきたいと思っています。ただ、現に利用をして頂いている状況ですので、安全に使用して頂けるための応急的といいますか、必要な補修については逐次やっていきたい。

二、(1)参加して、松浦の存在というのが発揮できるのかということも考えたところであります。市のカラーとか、独自色、あるいは存在感というものを出していくことが第一義であろうと思っております。

(2)年間来場者約200万人というヤフードーム、それに70万人というファンをお持ちのソフトバンク。そういった中で、常日頃からいろんな媒体を通じて松浦のPRを今させて頂いております。どれだけの効果があったのか数字で把握しておくというのは重々分かっていますが、今のところ、そこまでのデータを取り寄せている状況ではございません。

## 一般質問



志水 議員

一、福島大橋の現状と将来について  
二、港湾用地使用料を市の漁港用地並みに調整することについて

## 質問

## 答弁

一、(1)本年4月、福島側の伸縮継手部分に橋の異変とも思える段差や、路面にへこみが確認され、いち早く二次的な応急作業で対応されたと聞いているが、これまでの経過と今後の対応を伺う。

(2)橋は本市の産業発展の生命線である。43年経過した今日、第二架橋は地元住民の強い要望である。この機に早めの対応をすべきと強く思う。市の方針として建設の第一歩を踏み出す期成会の立ち上げについて、市長の前向きな考えを伺う。

二、港湾と漁港は用途の違いで使用料が定めてあり、1年毎に更新している。市の漁港用地も同様であるが、格差があり、同じ市内の漁民として不公平ではないかとの声がある。

(1)港湾と漁港の使用件数は。

(2)県営の港湾と漁港、それと市管理の漁港用地の使用料は。

(3)格差についてどのようにお考えか。

(4)今年から水産振興に力を注ぐと言われている。第一弾として3倍から6倍の差を縮めるために、県当局に個人分についても減免のお願いを強力にして頂きたいと思う。

一、福島大橋の現状と将来について

二、港湾用地使用料を市の漁港用地並みに調整することについて

## 答弁

一、(1)4月1日に確認し、4月14、15日でアスファルトにて路面の仮復旧を実施。7月29日から8月2日に伸縮継手の仮復旧工事が施工されています。今後、設計業務を年度内に完了させ、23年6月頃に本復旧の工事を発注されると聞いています。

(2)福島大橋についても実態調査がなされ、適切な予防的修繕で維持管理をすべき橋梁であると判断されています。このことから、第二福島大橋の架橋ということから考えますと、期成会等を立ち上げて要望活動をしていくというのは時期尚早と言えらるんじゃないかと思っております。

二、(1)21年度で、県管理の港湾62件、漁港26件、市管理の漁港が38件です。

(2)平米当たり月額で、県管理の港湾が14円、漁港が32・5円、市管理の漁港が10円台から30円台です。

(3)港湾と漁港の性格が違うこと、一定のルールに基づいてなされているということをお答えしたいと思います。

(4)どのような形で市としてお応えができるのか、県にどういう形でお願いますれば実現の方向へ行くのか、よく研究をさせて頂きたいと思っております。

## 一般質問



板谷 議員

一、水産行政について  
二、鷹島の今後の観光について

## 質問

## 答弁

一、新松浦漁協も合併して5年。全国的に水産不況と言われている。

(1)平成11年2月設立の伊万里湾栽培漁業推進基金の基本財産割合の見直しについて、市長の決断をお願いしたい。県内には7海区に栽培センターがあるが、行政の出資割合を他の海区と同率にして頂けないか。

(2)伊万里湾内企業との取り交わし内容は昭和47年のものであり、時代とともに環境が激変している今日、現状にあった見直しが必要である。

(3)国土交通省の全国重要港湾の見直しで、103港湾から43港湾が選定される、その中に伊万里港湾が選定されているが、今後の計画はどうなっているのか。

(4)3月議会質問の伊万里湾内の環境悪化については、どこまで協議がなされたのか。

二、(1)歴史民俗資料館の海底遺物の整理が早急に必要と思うが考えは。

(2)道の駅「鷹ら島」の駐車場拡張について、今後の見直しは。

(3)佐賀県側の筒井万賀里川線の道路整備を是非しなければならぬが、そういった話をされた経緯は。

一、水産行政について

二、鷹島の今後の観光について

## 答弁

一、(1)市の財政も大変厳しい状況ではありますが、今後、漁協、県と十分協議をしていきたいと思っております。

(2)この時代に相応しい協定のあり方、対応の仕方は、当然あつてしかるべきという考え方を持っております。伊万里市、関係漁協との組織を通して提案なり、お願いをしていきたい。

(3)国直轄事業として伊万里湾国際コナテナターミナル整備事業、伊万里湾大橋の道路拡幅事業、それから臨港道路が予定されています。また、県営事業が計画されています。

(4)伊万里市との協議を1回行っております。それから、13市担当課長会議において、県の調査事業を要望事項として2年連続で上げています。

二、(1)なかなか国の予算が付かないので単独の予算措置をといた話になれば、十分検討し配慮していきたい。

(2)具体的整備に向けて、取り組みを進めてまいりたい。

(3)西九州北部地域開発促進協議会の要望として、佐賀県へ要望活動をここ数年続けているところです。今年も8月10日に、直接古川知事に早期改良を強くお願いしました。

## 一般質問



安江 議員

一、子宮頸がん予防ワクチン公費助成について  
二、松浦港御厨地区の埋め立ての安全性について

## 質問

一、近年、20歳から30歳代で子宮頸がん発症率が急増しています。子宮頸がんは、がんの中で唯一予防ワクチンが有効で、日本でも昨年からはワクチン接種が可能となり、11歳から14歳の女子への接種が勧められています。

(1) ワクチンの有効性の認識はどうか。  
(2) 住民の健康を守る、また、女性の少子化対策の点から、せめて中学一年生の入学祝として、予防ワクチンの公費助成を行う考えはないか。

二、(1) 水底土砂検査の時期、浚渫場所との位置関係、検査結果を公表しない理由は何か。  
(2) 悪臭の原因を化学的に分析していない理由は何か。

(3) 佐世保港で不発弾が1千460個確認され、「御厨に運ばれた土砂の中に不発弾が、100%ないとは言えない」と明言されている。重要な不発弾の情報公表しなかった理由は何か。また、市民の安全を守る上でどう考えたのか。御厨の埋め立ての磁気検査を行うよう要請する考えはないか。

## 答弁

一、(1) 予防接種と定期検査でがんの発生がほぼ抑制できるということで、非常に抑制効果は高いという認識を持っています。

(2) 必要となる経費について検討し、平成23年度の当初予算、もしくは補正予算に計上して市としての助成をまいります。

二、(1) 採取の時期は、平成21年7月で、採取地点は、浚渫区域に隣接する岸壁中央部から沖合に25、50、75メートルの3地点です。検査データは、情報公開条例に基づき開示することとなりますが、海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律等に基づいて適正に処理されていると判断するところと見られます。(2) 海底土砂を陸上埋め立てに利用する場合は国の規定により32品目の検査を行います。臭いの成分検査は行われておりませんが、臭い成分検査は、佐世保市において法に基づき適正に処理をされ、安全性に問題は無いと判断をしたところです。安全性が100%ではないというご指摘に対しては、佐世保市に再度確認をとり、その協議の内容によって判断いたします。

## 一般質問



久枝 議員

一、電力移出県等交付金について  
二、今福町・遺跡発掘調査募集要項について

## 質問

一、松浦の両火力発電所のお陰で9億円が長崎県に入り、一部は大村のバイオテクノロジーの工場団地造成などに使われたと聞いている。

(1) 両発電所270万キロワットに対し、何年度から合計何億円の収入が長崎県に入ったのか。  
(2) 松浦市の事業に対して直接使われた交付金額は、幾らあるのか。

(3) 県からの交付金は、優遇的な交付がなされているのか。  
(4) 松浦市で生産された電力である。少なくとも3分の1くらいは松浦市に直接交付されるように、他の電源立地自治体などと提携して、国に働きかける必要があると思うがどうか。

二、遺跡発掘調査については、6月21日から来年2月28日までの間の雇用が創出された。  
(1) ハローワークでの公募には165名となっていたのに、実際の雇用は180名であった。財源に税金が使われているのに、こないだ加減な雇用があるのはおかしい。どうして15名の特別枠があったのか。  
(2) 今回の入札には何社が参加したのか。

## 答弁

一、(1) 県の方に入った電力移出県等交付金の総額は、平成元年から21年度までで約130億3千600万円となっています。

(2) 平成13年度と14年度に水産加工団地整備企業導入事業として1億1千万円の交付を受けています。

(3) 電源立地地域として、県に対して積極的に事業実施にあたっての交付を働きかけていく必要があります。

(4) 市としては、この交付金に対する貢献度は大変大きいものですから、県の事業を松浦市で実施してもらったり、市が事業を企画立案して交付金の活用をしたり、積極的に県に働きかけていこうと思います。また、電源立地市町村への重点的な配分については、九州地域の電源協議会を通して国の指導もお願いしているところと見られます。

二、(1) 県の教育委員会を通じて請負業者に確認をしたところ、欠員等を考慮して多く採用しているとのことと見られます。  
(2) 一般競争入札で行われ、5組の共同企業体の応募があり、入札が行われています。

一般質問



吉原 議員

一、子宮頸がん予防ワクチン接種補助への取り組みについて  
二、平戸・松浦・福岡直行バス「よか路号」の今後について

質問

答弁

一、子宮頸がんはHPV(ウイルス)を男性が女性に伝播するものであるから、男性としてワクチン接種補助の声を出すものである。九州で最初に取り組まれた小城市の担当課長は「ワクチン接種で子宮頸がんを予防できるなんてすばらしいことです。他の事業費を少々削減しても、うちは人に投資します。若い女性を守り、医療費負担も抑えることになるでしょう。」とおっしゃいました。  
二、平戸・松浦・福岡直行便「よか路号」の存続運行を喜んでいいる。  
(1) 停車場の変更は可能であるか。  
(2) トイレや待合所の設置が困難であれば、利用客の利便性向上のため、福岡都市圏のお客様が松浦の新鮮な海の幸を食味する料理店や松浦のお土産を買う物販施設と停車場をより近い場所に変更するよう協議すべきでは。(3) 協議する時期はいつか。

一、(1) 若年で接種をすると非常に効果が高いと認識しております。ワクチン接種については、公費助成を行う方向で取り組んでいきたいと考えておりますので、接種の年齢、助成の内容について、今後検討してまいりたいと思っております。  
(2) 国、県が万が一やらないということになったとしても、単独でやる決意をしているところです。  
二、(1) 今回の新たな「YOKARO号」の事業実施関係者に確認しましたところ、乗られる方が事前にわかっている貸切バス事業ということで、途中でのバス停の変更は可能というふうにお伺いしております。  
(2) 博多から来られたお客様が松浦でおられた後にどういうふうな動きができるか、そういう受け皿の動線の問題もごございますので、事業を実施される方、バスを利用される方、あるいは土地のいろんな利害関係、管理をされている関係の方々、どういった停車場の位置がいいか協議する場を設けたいと思っております。  
(3) 今年中にやりたいと思えます。

一般質問



山口 議員

一、福島大橋の安全性と今後の対策について  
二、高齢者福祉サービスの平等化に向けた取り組みについて

質問

答弁

一、昭和42年開通当時予想されなかった、採石業・LPG基地の誘致による大型車、トレーラーの交通量が増加。4月に橋の固定コンクリートに亀裂が生じた。(1) どのように対応され、今後の対策は。(2) 橋は狭く大型車、自転車、歩行者の安全性に欠けている。今回の異常を機に、歩道の設置や第2架橋建設に向けて県への働きかけをすべきではないか。  
(3) 将来に向けて、市として橋を考慮する場を作る考えはないか。  
二、松浦地域では老人福祉センター等において入浴、福祉バス運行がされ、鷹島では温泉入浴券、市営バス乗車券の発行がされている。福島においては、このような高齢者助成がない。市としては、平等化は優先課題、早急に検討し対応すると答弁されているが、未だ実行されていない。  
(1) 新つばき荘での温泉入浴券発行は考えられないか。  
(2) なぜバス乗車券の助成ができないのか。不平等解消を早急にやる姿勢で、担当課は行動すべきである。

他に、台風で崩壊した福崎棧橋や農地の災害復旧について質した。  
一、(1) 4月14、15日で路面を掘削し、状況を確認した上で、路面の仮復旧を実施し、7月29日から8月2日に伸縮継手の仮復旧工事を施工されています。今後、設計業務を年度内に完成させ、平成23年6月頃に本復旧の工事発注と聞いております。  
(2) ただ単に大橋を架け替えて下さい、あるいは歩道をつくって下さいということだけではなかなか。よく言われます費用対効果とか、やはりその必要性ということを議論して、県なり国を動かす手立てが必要ではないかと思っております。  
(3) 第2福島大橋ということについては、今すぐとはならないと思いますが、時期を見て、検討する時期が来た時には、市としても対応していかなければならぬと思っております。  
二、(1) 温泉を御利用頂く、その方向で今後指定管理者と協議をしたい。  
(2) 現在、地域福祉計画の策定の準備を進めています。今年度、アンケート調査等で住民の意向とかニーズ、生活実態等を調査していきますので、その中で、全体的な見直しとして十分議論をしていきたい。

## 一般質問



嶋田  
議員

## 質問

一、(1)松浦東高校の跡地利活用については、コンサルタントに4案を取りまとめ頂いて、5月中旬に県及び県教育委員会へご提案をしておられると思いますが、その結果を、何らかの進捗があったのかを伺う。

(2)今福中学校の耐震化、水はけの悪い運動場整備の問題等々、東高校の跡地利活用として今福中学校が移るかどうかというのは大きな問題になると思うが考えを伺う。

二、(1)松浦市の消防署は、築何年で耐震化はどうなっているのか。市民の生命、財産、身体を守る、防災の要である消防署の建て替えの考えは。建て替えるとなれば、場所の移転等も含めた考えになっているのか。

(2)江迎・鹿町町が抜けたことにより、消防署員の人員はしつかり確保がなされているのか。

その他、消防団のホース乾燥柱整備、消防団員のヘルメット耐用年数の点検、繁殖雌牛1000頭増頭の現在までの進捗状況、牛運搬車及び牛の餌収穫機械、遺族会に対する助成、忠霊塔の維持管理・周辺整備について質問いたしました。

一、教育行政について  
二、消防行政について

## 答弁

一、(1)県立学校跡地利活用検討会を7月16日に開催され、意見集約をされ、8月5日に県の教育環境整備課から、県としての活用を求める2案については困難という考え方が示されております。一方、市としての活用案については、県としてこのような支援策があると示されて、アドバイスを頂いたという経過であります。

(2)耐震化、また、グラウンド、駐車場等の整備計画については、現在地の中学校ということであれば、当然総合計画の実施計画にも上げていますので、東高の問題を含めて、動向を見極めて整備を行っていきたく。

二、(1)現在の庁舎は48年建築です。耐震診断を実施し、耐震性に問題があることが判明したところで、防災の拠点として、新たな庁舎を建設する必要がありますと考えています。実はその候補地の選定について検討するよう消防本部へ指示をしています。

(2)消防職員は現在63名です。23年度当初には、64名体制になるように進めてまいります。現下の消防需要には対応できていると考えています。

## 一般質問



白石  
議員

## 質問

一、(1)御厨港の埋め立てが中断されているが、現状と今後の予定について伺います。(2)この埋立地から悪臭がするとかの苦情については、どのように対処したか。

(3)悪臭や湾内生物、住民生活に影響を与えるような水質汚濁、騒音等があつてはなりません。直ちに県との協議を行っては如何ですか。市長はどのように思っているのか。

二、(1)離島を含めて地域格差が生じない情報ネットワーク整備の今後の方針について、考えを伺います。

(2)消防救急無線のデジタル化の経過と、その整備の概要についてお尋ねします。(3)情報機器の発達は、急速に進んでいる。時代の潮流を確実にとらえた松浦市情報化推進計画書を作成したらどうか。

(4)先の議会一般質問で、離島に議会中継のモニターテレビを設置してと言いました。島の特異な水産業等を振興し、支援するためには、情報網の整備に早急に取りかからなければならぬと思います。再度、離島振興の政策面から市長のお考えを伺います。

一、御厨町泉地区に接する松浦港湾・御厨港の埋め立てについて  
二、情報化の推進について

## 答弁

一、(1)佐世保市からの埋め土の搬入が終わり、残り約15万立米。今後は県の方で若干の発生土を、大規模には西九州道の残土を予定しています。

(2)その都度現場へ行き、お話を聞きし、佐世保市に連絡をとり対処してきましたが、においについては対策が困難ということで、地区住民の御協力をお願いしたところでです。

(3)いろいろな対応策をとって、安全性に問題がないということで今日まで来ています。埋め土の確保に更に努力を重ねて、皆様方の御心配が解消できるように努力してまいります。

二、(1)地域格差のない行政サービスの実施を基本構想に掲げ、基本計画として、電子自治体の推進と防災行政無線の整備を示しています。

(2)消防用アナログ無線局の使用が28年5月までと規定されたところで、今年度までに電波伝搬調査と基本設計を実施します。その後、実施設計、無線設備の設置、鉄塔・局舎等の工事、また試験運用を行うこととなります。

(3)現段階において計画策定までは、考え方としては持つておりません。

(4)今後よく検討させて頂きたい。

## 一般質問



山岡 隆  
議員

一、水産業に対する振興策について  
二、簡易水道事業について

## 質問

一、(1)水産業、特に養殖トラフグ業者は、大変厳しい経営状況を余儀なくされており、市長は先の定例会において、国内の消費拡大と中国からの輸入を少なくすることが今後重要な課題で、県漁連あるいは皆様方と、中国政府に対し中国での消費拡大に取り組んでもらうよう、国・県にも要望していかねければならないと答弁されておりますが、取り組み状況、内容等について説明をお願いしたい。また、今後の対策はどのように考えておられるか。

(2)新松浦漁業協同組合の加工場が大変厳しい状況であるようですが、今後の対応について協議されたと思っておりますが、協議内容について説明をお願いしたい。

二、今回、鷹島町の簡易水道の中で異臭がすると住民の皆様から苦情が来ておると思いますが、どの地区からの発生で、いつ頃発生したのか。また、原因は何か。それから、今後の対応と、地区、住民の方々にとどのような周知をされたのか御説明願います。

## 答弁

一、(1)中国漁業会にフグ部会が発足し、政府への国内フグ食解禁の働きかけが行われているようです。市としては、市長会の方へ佐世保市と連名で要望しています。今後も引き続き努力をして、国会議員の先生方、県、水産関係団体との連携を図りながら取り組んでまいります。

(2)漁協から要望がございました従業員雇用の支援と営業及び製造管理者の支援については、緊急雇用創出事業及びふるさと雇用再生事業の採択を受けています。また、漁協役員、地区代表者、行政、系統団体等をメンバーとして管理運営委員会を結成され、その中で今後の運営に向けた取り組みがなされています。

二、阿翁地区で8月中旬頃から発生したものです。浦日比の水源地に、日照り続きと連日の猛暑日で光合成が多くなり、藻臭が強くなったと考えています。地域住民の方には原因と、対策として水槽部に活性炭と木炭を設置し、臭気を取り除くよう努めていると御説明しています。今後は活性炭等の設置を早目に対応して、発生しないように努めてまいります。

## 一般質問



下久保 隆  
議員

一、子ども医療費補助について  
二、中総体の実施状況と体育施設について

## 質問

一、この補助制度については、近隣の自治体にはない制度として評価している。しかし、補助金や助成金の垂れ流しになってはいけない。条例の中に、現在問題になっている給食費の未納者等については対象となれないような文言を入れるべきだ。権利と同時に義務もあり、義務を果たしている人の権利も守るべきで、今後大問題となり得る給食費未納問題の解決策の一つとして提案する。

二、(1)現在の少子化の中で、一部の学校では団体競技等のチーム編成に苦労され、新入生を入れなくてはならない状況にある。そんな中、現状中総体の開催時期が早いのではないかと。開催時期の基準があるかもしれないが、臨機応変に対応してほしい。(2)国体開催が予定されている中で、「ふれあいホール」に下駄箱等を設置する考えはないか。

(3)陸上競技場や野球場については、平成22年度頃から施設の検討をする旨の発言があつているが、現在どのような検討がなされているのか。その他、「海のふるさと館」の指定管理にかかる現況について質した。

## 答弁

一、子どもの健やかな育成と福祉の増進を図るということを目的としていることから、ペナルティ的な規定を条例に設けるのは、趣旨に沿わないと考えています。学校、教育委員会、PTAの皆様方等と連携を図りながら、給食費を納入して頂ける努力をしていきたい。そのほうが望ましい方法ではないかと思えます。

二、(1)県大会の申し込みが、球技が6月18日、陸上が6月25日になっております。それから、県内ほとんどがやはり早目に球技、武道を行います。陸上を先にやりますと、練習試合とか、いろんな大会に出られなくなる。そういう課題を抱えておりますから、市の中総体の競技委員会等においても、そういうものを考えながらの決定ということで理解して頂ければと思います。

(2)通路の使用に差し支えがないか、下足箱を利用するような行事が年に何回あるかとかを勘案して、今後検討していきたい。

(3)総合計画に基づく22、23、24年度の実施計画の策定を今しているところで、その中に盛り込んでいきたい。

一般質問



友田 議員

質問

一、(1)市長は第2次行政改革でどんな松浦市にしようと考えているのか。  
 (2)民間の方々で構成する行政改革推進委員会に、政府の事業仕分けのように事業の必要性を議論してもらおう考えはないか。  
 (3)合併当初からの課題だった定員適正化計画が未だに策定されていない。いつまでに、どのような考え方でこれを策定するのか。  
 (4)これまで度々市内4つの診療所の一元管理を求めてきたが、「各診療所の医師は旧町時代から各診療所長として雇用契約を結んでいるため、一元管理は難しい」と聞いた。医師は市長の指揮命令権も及ばないような特別な存在なのか。  
 二、(1)勤労青少年ホームを利用できるのは、25歳未満の勤労者と規定されているが、守られているか。  
 (2)児童館は市内で唯一志佐町にのみ設置されているが、それで児童館本来の目的を達成できるのか。  
 (3)施設によって条例を非常に柔軟に適用する所と厳密に適用する所があり、市民に不公平が生じている。設置条例を大幅に見直す考えはないか。

一、第2次行革大綱の策定に向けた市長の意気込みと第1次行革の成果と課題について  
 二、市内公共施設の利用状況と条例との整合性について

答弁

一、(1)総合計画をしつかりと受け止めて、今後は計画の実現のために、やはり財源の確保と行政事務の洗い直しをやって、簡素で効率的な行政運営の実現を目指していかなければならないと思っています。  
 (2)外部委員による行政評価に取り組みなければならぬという思いを持っており、今後、具体的な検討をさせて頂きたい。  
 (3)総務省が示すモデルの定員回帰指標を一つの柱、それから類似団体というもう一つの柱、この二つの指標に基づいた定員適正化計画を今年中に示していこうと考えています。  
 (4)当然任命権は市長にあるわけですから、それは及ぶということです。  
 二、(1)条例上、「市長が特に認められた者」という規定の中で運用を行っているところであり、  
 (2)市内全域の子ども達に、遊び場の提供といったものについて平等なサービスができていないかと言え、できていないというお答えになります。  
 (3)しっかりと検証いたしましたし、条例の見直しについても取り組むべきだと思っております。

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上、1人当たりの質問時間は70分以内(答弁、関連質問を含む。)という取り決めになっています。

今定例会では、9月6日から9日までの4日間で13人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所 議会事務局
- 市役所 各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

議会の傍聴に

お出かけください。



次の定例市議会は

12月です。

議会はインターネット中継でもご覧いただけます。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコンから視聴が可能です。

また、編集が終わりましたら、録画映像の配信も行います。

松浦市公式ホームページアドレス

<http://www.city-matsunura.jp>

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

TEL (0956) 72-0264

# 常任委員会の審査概要

## 総務委員会

### ★議案第110号 平成22年度松浦市一般会計補正予算(第5号)

#### ◇定住促進支援事業

企画費に「ふるさと就職奨励金」25万円が補正計上されました。

この奨励金は地元への就職を奨励するため創設され、今年度支出予定の資格登録者が65人になったことによる増額です。内訳としては、U・Iターン者が34名、市内在住の新規卒業者が31名です。勤務地は市内が43名、市外が22名となっています。松浦市としては、人口減少を止めるため地元での就業活動を奨励しています。定住奨励金制度や農漁業への新規就業促進制度等と合わせ、地元での新規就業が有利な制度となっています。

### ★請願第2号 永住外国人地方参政権付与の法制化に反対する意見書提出に関する請願について

永住外国人に地方参政権を付与する法改正が検討されているとして、これに反対する意見書の可決を求め

る請願が提出され、本委員会に審査が付託されました。委員会では、審査の過程で願意に反対の意見も出されましたが、多くの委員から「国民の十分な理解が必要であり、現状ではまだ不十分である」との意見が述べられ、賛成多数で願意妥当と認め採択し、政府関係機関へ意見書を提出すべきものと決定しました。

## 文教厚生委員会

### ★議案第110号 平成22年度松浦市一般会計補正予算(第5号)

#### ◇鷹島中学校トイレ改修事業

鷹島中学校の校舎(特別教室棟を除く)は昭和40年度に建設された校舎で、衛生的にも劣悪な環境にある校舎トイレの水洗化と便所棟の増築工事を行う予算として3千42万3千円が計上されました。

### ★認定第1号 平成21年度松浦市診療所事業の決算認定について

平成21年度から病院事業を廃止し、新たに診療所へと経営形態を変え、市民の医療確保と公共福祉の増進を図るべくスタートした中央診療所も、

常勤医師の退職等に伴い医療体制の確立ができなかったこともあり、21年度については、対前年度比で入院患者は約46%、外来患者は約60%と激減しています。欠損金も7千88万4千円に上るなど大変厳しい経営状況にあるため、市執行部としても22年度上半期の経営状況を見て、大方の理解が頂ける結論を導き出していきたいとのことでした。今後とも経営改善に向けて、増収対策、経費の節減に努力するよう要請し、認定すべきものと決定しました。

## 産業経済委員会

### ★議案第108号 松浦市定住促進住宅条例の一部改正について

主な改正内容は、子育て支援及び市内への転入促進を目的として家賃の減額を行うというものです。子育て支援策として、同居者に中学生以下の子どもがいる場合には、一人の場合は2千円、二人の場合は4千円、三人以上の場合は5千円が家賃から減額されます。

また、転入促進策として、市外から転入された場合、入居階数により平成23年度までは5千円から1万円を減額し、その後は3年間の経過措置を設けて減額が行われます。

### ★議案第110号 平成22年度松浦市一般会計補正予算(第5号)

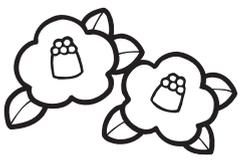
#### ◇本委員会所管の主な事業

- ▽県営農村災害対策整備事業 8,000千円
- ▽地元購買促進活動事業 3,098千円
- ▽商店街活性化事業 1,387千円
- ▽松浦市共通商品券発行事業 8,929千円
- ▽市道改良事業(2路線) 7,000千円

### ★議案第125号 財産の取得について

大岳生産森林組合所有の山林(御厨町山根免)について、森林の荒廃を防ぎ、干害防備保安林としての機能の維持継続を図ることを目的に、予定価格2千865万3千円で取得するものであり、妥当と認め原案のとおり可決しました。

なお、当該山林の面積は約16万1千㎡で、樹齢50年～60年のスギ、ヒノキが約1万6千本生育しています。



# 特別委員会の動き

## 道路網整備促進 特別委員会

8月4日、伊万里市において「伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道建設促進協議会総会」を開催し、西九州自動車道の早期完成に向けた平成22年度の活動計画等を決定しました。また、道路整備予算の確保等に関する決議を全会一致で採択し、政府及び関係機関へ決議文を送付しました。

8月24日には協議会の活動計画に基づき、佐賀国道事務所及び長崎河川国道事務所との意見交換、佐賀・長崎両県知事並びに県議会議長に対する要望を行いました。

佐賀・長崎の各国道事務所との意見交換では、本道路の進捗状況について説明を受けました。唐津伊万里道路の唐津インターから北波多インター（仮称）間は平成23年度供用開始に向け、また、佐々世保道路の相浦中里インターから佐々インター（仮称）間は、平成22年度末供用開始に向け整備を進めているとのこと

でした。

伊万里道路、伊万里松浦道路についても一部工事着工をはじめ、用地買収、調査・設計協議等を実施中であり、事業はおおむね順調に推移しているとのことです。

松浦市々々町間の早期事業化については、都市計画決定に向けた調査を実施中であり、引き続き調査を実施していくとのことでしたので、整備計画への格上げに向けての取り組みをお願いしました。

続いて、佐賀・長崎両県知事並びに県議会議長に対し、早期整備促進について今後とも精力的に国等に対する働きかけをお願いするとともに、道路予算の確保等についても積極的な取り組みを展開して頂くよう要望し、特に中村長崎県知事からは、長崎県の最重要事業として位置づけ、今後とも全力で取り組んでいきたいとの考えが示されたところです。



〔中村長崎県知事へ要望〕



〔長崎河川国道事務所長へ要望〕

## 企業対策 特別委員会

6月16日に委員会を開催し、市内の既存企業との意見交換の場を設けて、企業育成や雇用拡大に関する情報の収集を行うことを決定し、去る7月5日及び同月30日に6企業を訪問して各企業の経営状況等についての調査を実施いたしました。

引き続き長崎県における企業誘致の取り組み状況の調査や、市内企業経営者との意見交換会を通して、更なる企業誘致と企業育成の情報収集に取り組みこととしております。



双日ツナファーム鷹島株式会社  
クロマグロ養殖いけすを視察  
〔鷹島町阿翁浦沖合〕



**6月**  
22日◇文教厚生委員会

**7月**

1日◇西九州自動車道建設促進期成  
会定期総会 (唐津市)

5日◇伊万里・平戸・松浦市議会西  
九州自動車道建設促進協議会

◇企業対策特別委員会市内企業  
理事会 (松浦市)

◇企業対策特別委員会市内企業  
訪問

6日◇長崎県戦没者慰霊奉賛会定例  
評議員会 (長崎市)

12日◇文教厚生委員会所管施設調査

13日◇文教厚生委員会所管施設調査  
◇棕呂路・板山トンネル建設促  
進期成会総会 (佐世保市)

◇環・伊万里湾核都市研究会  
(松浦市)

15日◇文教厚生委員会協議会

16日◇西九州北部地域開発促進協議  
会総会 (伊万里市)

◇文教厚生委員会所管施設調査

21日◇市議会だより編集委員会

26日◇長崎県離島振興市町村議会議  
長会臨時総会 (五島市)

27日◇全員協議会

◇文教厚生委員会

28日◇松浦鉄道自治体連絡協議会総  
会 (佐世保市)

28日・29日  
◇長崎県西九州自動車道建設促  
進期成会中央要望 (東京都)

30日◇企業対策特別委員会市内企業  
訪問

**8月**

4日◇伊万里・平戸・松浦市議会西  
九州自動車道建設促進協議会  
総会 (伊万里市)

17日◇市議会臨時会

◇全員協議会

19日・20日  
◇長崎県市議会議長会臨時総会  
(五島市)

20日◇長崎県市議会議員研修会  
(五島市)

24日◇伊万里・平戸・松浦市議会西  
九州自動車道建設促進協議会  
による国、長崎県・佐賀県要  
望活動 (長崎市・佐賀市)

25日◇北松北部環境組合議会定例会  
(平戸市)

◇文教厚生委員会

31日◇議会運営委員会

◇長崎県後期高齢者医療広域連  
合議会定例会 (長崎市)

## 8月臨時会

8月17日に臨時会を開催し、条例  
1件、予算1件、その他の議案3件  
の審議を行いました。また、このほ  
かの議事として、専決処分報告、  
出資法人である株式会社鷹島公社の  
経営状況の報告がなされました。  
議案の審議結果は、次のとおりに  
なりました。

●松浦市市交通安全保障条例の廃  
止について……………原案可決

●平成22年度松浦市松浦魚市場特別  
会計補正予算(第2号)……………原案可決

●御厨小学校改築工事請負契約の変  
更について……………原案可決

●長崎県市町村総合事務組合を組織  
する地方公共団体の数の減少につ  
いて……………原案可決

●専決処分の承認について  
平成22年度松浦市一般会計補正予  
算(第4号)……………承認



## 傍聴のしかた

本会議は一般に公開され自由  
に傍聴できます。

傍聴を希望される方は、市役  
所5階の傍聴席入口にある傍聴  
者名簿に住所・氏名・年齢を記  
入して入場してください。

傍聴席での飲食・喫煙は禁止  
されています。また、録音・写  
真撮影・ビデオ撮影等は事前に  
許可を必要とします。

# 議案等の審議結果

条 例		予 算	
<input type="checkbox"/> 松浦市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決	◎平成22年度松浦市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
<input type="checkbox"/> 松浦市教育振興基金条例の一部改正について	原案可決	<input type="checkbox"/> 平成22年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
◇松浦市定住促進住宅条例の一部改正について	原案可決	<input type="checkbox"/> 平成22年度松浦市老人保健特別会計補正予算(第1号)	原案可決

決算認定		予 算	
○平成21年度松浦地区消防組合一般会計の決算認定について	認 定	<input type="checkbox"/> 平成22年度松浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
<input type="checkbox"/> 平成21年度松浦市診療所事業の決算認定について	認 定	<input type="checkbox"/> 平成22年度松浦市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
◇平成21年度松浦市水道事業の決算認定について	認 定	<input type="checkbox"/> 平成22年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
◇平成21年度松浦市工業用水道事業の決算認定について	認 定	<input type="checkbox"/> 平成22年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
◇平成21年度松浦市下水道事業の決算認定について	認 定	◇平成22年度松浦市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
◇平成21年度松浦市交通事業の決算認定について	認 定	◇平成22年度松浦市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		◇平成22年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算(第3号)	原案可決

決算審査特別委員会設置・審査付託		予 算	
▼平成21年度松浦市一般会計の決算認定について	継続審査	◇平成22年度松浦市臨海土地造成事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
▼平成21年度松浦市青島診療所事業特別会計の決算認定について		◇平成22年度松浦市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
▼平成21年度松浦市土地区画整理事業特別会計の決算認定について		◇平成22年度松浦市工業用水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
▼平成21年度松浦市鉱害復旧灌漑用水施設維持管理事業特別会計の決算認定について		◇平成22年度松浦市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
▼平成21年度松浦市国民健康保険特別会計の決算認定について		◇平成22年度松浦市交通事業会計補正予算(第2号)	原案可決
▼平成21年度松浦市老人保健特別会計の決算認定について			
▼平成21年度松浦市後期高齢者医療特別会計の決算認定について			
▼平成21年度松浦市介護保険特別会計の決算認定について			
▼平成21年度松浦市簡易水道事業特別会計の決算認定について			
▼平成21年度松浦市福島診療所事業特別会計の決算認定について			
▼平成21年度松浦市鷹島診療所事業特別会計の決算認定について			
▼平成21年度松浦市下水道事業特別会計の決算認定について			
▼平成21年度松浦市松浦魚市場特別会計の決算認定について			
▼平成21年度松浦市臨海土地造成事業特別会計の決算認定について			

議員提出議案		そ の 他	
※永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出について	原案可決	◇財産の取得について	原案可決
		◇公有水面埋立免許出願に対する意見について	原案可決
		◇市道の路線廃止について	原案可決
		◇市道の路線認定について	原案可決
		◇松浦市福島町観光宿泊施設の指定管理者の指定について	原案可決

議 問		請 願	
※人権擁護委員候補者の推薦について(調川町松山田免 大石 文美子 氏)	了 承	○永住外国人地方参政権付与の法制化に反対する意見書提出に関する請願について	採 択
※人権擁護委員候補者の推薦について(御厨町高野免 加藤 哲夫 氏)	了 承	<input type="checkbox"/> 選択的夫婦別姓制度等を盛り込んだ民法改正反対の意見書提出に関する請願について	継続審査

(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。

◎…各常任委員会(総務・文教厚生・産業経済)へ分割付託 ※…委員会付託を省略し全員審査  
 ○…総務委員会 □…文教厚生委員会 ◇…産業経済委員会 ▼…決算審査特別委員会